



日本医療機能評価機構認定病院  
**公立山城病院新聞**  
YAMASHIRO PUBLIC HOSPITAL

発行元 公立山城病院  
発行元責任者 中埜 幸治

看護体制がより充実  
『7対1』看護体制へ

看護部長 大溝 明美



山城病院では、平成21年4月より『7対1』の看護配置を行っています。

各病棟の看護師配置については、1日24時間、患者様7名に対して看護師1名以上の割合で配置しています。また、1日のうち昼間は看護師を多く配置して、夜間は昼間よりやや少ない配置となり、患者様の食事時間・モーニングケア・イブニングケアの時間帯は早出・遅出勤務で要員配置を厚くしています。このように患者様10名に対して看護師1名の配置から、7対1になったことにより密度の濃い看護配置になり患者様により質の高い手厚い看護を行うことが可能となりました。

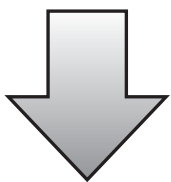
日本看護協会の「看護職員の配置の妥当性に関する調査」によると、看護職員の配置と平均在院日数、転倒転落、誤薬、褥瘡の発生率、死亡退院の割合などが関係すると報告されています。

患者様へ安全・安心な医療と看護の提供をするために、現場には多くの看護師が必要となります。高度医療の提供、在院日数の短縮、入院患者様の高齢化によるケアの需要の高まり、安全確保対策等によりますますその需要は高まります。

当院では、今後も看護職員の確保に努め、安定した看護配置を維持して地域の中核病院として地域の皆様に安心して入院していただけるよう努めていきます。

『10対1』

入院患者様10人に対して看護師1人



『7対1』

入院患者様7人に対して看護師1人

肺がん —小さく見つけて、小さく手術—

呼吸器外科 部長 伊藤 和弘



みなさんは、肺がんと聞いてどんな印象をお持ちでしょうか。「息が苦しくなる」「咳が出る」「胸が痛い」などの症状を思い浮かべられるかもしれません。ところが、これらの症状は、進行した肺がんの場合に出てくる症状で、初期の肺がんは全くの無症状です。そして、初期に発見された肺がんは、根治可能な病気なのです。

従来、肺がんに対する手術治療といえば、大きな肺がんに対しても、手術で取りきることを目標に拡大手術を行ってきました。ところが、最近の報告では、小さな腫瘍に対して標準的な手術を行うことで、治療成績が上がるということがわかってきました。すなわち、早期発見・早期治療が肺がんに対しても有効なのです。そして、最近10年位の間、胸部CTや画像診断が進歩・普及し、胸部レントゲンでは指摘できないような小さな陰影が指摘されるようになってきました。これらの小さな肺がんに対しては、手術治療で根治を期待できます。

従来は、大きな皮膚切開で開胸して手術を行っていましたが、最近は、内視鏡（胸腔鏡）を利用して手術を行うことにより、傷の小さな、痛みの少ない手術を行うよう、外科医の技術も向上してきています。さらに、当院では、内視鏡手術用にハイビジョンシステムを導入し、今まで以上に鮮明な画像を見ながら、安全かつ確実に手術を行うよう努めています。

悪性腫瘍のうち、肺がんによる死亡率の推移を見ると、男性では平成7年に胃癌によるものを抜いて第1位になっています。肺がんに関しては、発見されたときには、60~70%は手術治療ができないくらい進行していることが一因であろうと考えています。これらの進行した肺がんに対しては、抗がん剤による治療や、放射線治療、痛みや咳に対する緩和医療を行い、一定の成果が報告されてきています。

肺がんも、ほかの悪性腫瘍と同じように、早期発見により根治が可能です。胸部レントゲンだけでは早期発見につながらないことがありますので、健康診断・人間ドックで胸部CTによる検査を追加していただきたいと思います。喫煙は肺がんになるリスクを5倍にあげます。タバコを吸う方は、第一に禁煙することが必要です。







H21年5月1日、五月晴れに恵まれ、爽やかな初夏の陽気を感じながら、新入職者23名と引率者3名で奈良公園にオリエンテーリングに行きました。

午前中、しっかりと各部署で勤務した後、昼の12時、木津駅改札前に集合しました。各自、お弁当・お茶をもって、奈良駅でまずは集合写真をパチリ、皆この時点ではとっても元気でした。奈良公園に到着してすぐにお弁当タイム。食後、空になった弁当を置いていたら、カラスに持っていかれるという珍事件も発生、賑やかな昼食となりました。

食後はそれぞれ別のコースから3班に分かれて、クイズを解きながらの奈良公園内散策をしました。猿沢池から東大寺、国立博物館、二月堂とクイズの範囲も広く、内容も実際に現場に行ってからでないと、答えられないものが多いため、最初は元気いっぱいだった私達も、徐々に『疲れた～。へとへと。』という状態になり、しまいには係員の人にクイズの答えを尋ねるという荒業も使



ながら、なんとか回答していきました。クイズの正解率・到着のタイムで1位・2位・3位と順位が発表されると、お互いに『頑張ったね。』という声もきかれました。

グループで一つの課題をこなしながらのウォーキングは、思ったよりも知力・体力を使い、コミュニケーションの大切さを学ぶとともに、心身共にリフレッシュできた1日となったと思います。



# 新人研修 オリエンテーリング／奈良公園

## 平成21年度看護師人材確保計画予定

	活動内容
4月	橘大学就職説明会4/22 (橘大学) 合同就職説明会4/26 (京都産業会館) 産後復帰調整
5月	合同就職説明会5/30 (京都テルサ)
6月	学校訪問 合同就職説明会6/7 (KBSホール)
7月	病院見学会7/18 一次採用試験7/23 合同就職説明会7/26 (京セラドーム)
8月	病院見学会8/1 二次採用試験8/6
9月	病院見学会9/5 三次採用試験9/18
10月	四次採用試験
11月	職員募集広告検討 (ナース専科・日経ナビ) 復帰調整
12月	産休、育児休業者と管理課との看護師寮調整

## 地域の皆様に 安心して質の高い看護を!



少子高齢化の進展、医療技術の進展により医療・看護を取り巻く環境は変化している。当院では、地域の皆様に安心して質の高い看護を提供させていただく体制の確保のために看護スタッフの充実を目指しています。そのため看護部では、人材育成確保計画をあげています。一人一人を大切にし、個人的にキャリア形成を支援していき環境を整備し、主体的に成長・発展できる人材の育成に取り組んでいきます。

1月	次年度採用予定日程調整 業者と広告内容検討 保育所人数確認
2月	退職予定者との日程調整
3月	人事部との調整 業者と広告内容検討 最終調整

## 看護の日

5月12日看護の日の健康フェスタにご協力下さりありがとうございました。

今回は身長、体重、血圧、血管年齢、骨密度、体脂肪を実施しました。その結果終わってみれば192人と沢山の方に参加いただきまして感謝しております。皆様の日頃の健康に関する関心の深さを知ることができました。今年も無事に終了することができました。本当にありがとうございました。

5階病棟 柳沢 智子

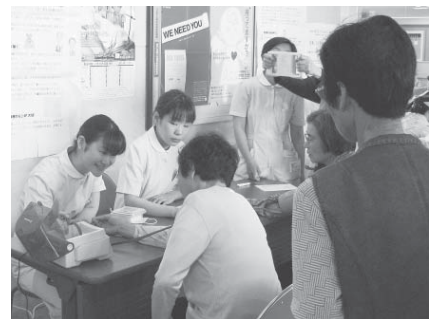


## 健康フェスタ

5月12日はナイチンゲールの誕生日です。それにちなんで、5月12日は「看護の日」と言うようになりました。

当日は沢山の方が参加して下さいました。特に、血管年齢や骨密度測定は、普段なかなか測定出来ない為、それを目当ての来られる方もいらっしゃいました。測定結果を見て、喜ばれる方、落ち込まれる方様々でした。又、「今まで受診しようか・・・と悩んでいたが、受診する決意がついた。」と話す方もおられ、再認識出来た事を嬉しく思い、健康に対する関心の高さを感じました。近隣の皆さん、多数のご参加ありがとうございました。

3階病棟 小川友香





# 平成21年度

## 新採用者から一言



4月に当院に来て下さった新人看護師達も、早2か月がたちました。驚きと不安でいっぱい毎日ですが、1言ずつ今感じている事を書いて頂きました。

ここでの介助方法や、電子カルテ、物品の取扱など早く覚えて、医療スタッフとして1日でも早く慣れていきたい。新しい事にもチャレンジしたい。

外来 和田祥典

ICUでの看護師の役割が自分に出来るか不安ですが、一生懸命頑張ります。

多くの処置を受けられる患者さんを見て、業務の責任を感じました。今は、知識も技術も未熟ですが、患者・家族の立場に立った看護も大切にしていきたい。  
大分病棟に慣れてきました。看護師として、社会人として、沢山の事を学びたい。

3階病棟 吉住亜希・札埜陽子・吉川葵

慣れない事も多いですが、1日でも早く1人立ち出来るよう頑張ります。

学生時代と比べ、責任の重さを感じます。自分がつらい時でも、患者様には笑顔で接する事が出来る看護師になり



たい。

出来ない事ばかりですが、しっかり成長していきたい。  
看護師は人の命に関わる仕事であり、責任の重みを改めて感じました。

4階病棟 中野香織・尾山潤子・黒田翠・稲葉明日香

不安だらけのスタートでしたが、優しいスタッフに恵まれ、安心して頑張れそうです。新人でも働きやすい環境なので、就職して良かったです。

日々命に関わる仕事である事に緊張し、技術の難しさにアタフタしています。早く患者様に頼って頂ける看護師になりたい。

就職時迷いがあったが、先輩方がチームで教えて下さるので有り難いです。

5階病棟 井上敏江・吉川愛美・山口万治

スタッフ皆が、色々な意味ですごくいいので、やる気を保つたまま頑張れそうです。

毎日緊張の連続ですが、スタッフに支えられ頑張っています。患者様の立場に立って考えられる優しい看護師になりたいです。

多くの事を吸収して、いつも笑顔で居られる様に、頑張ります。

不安で・わからない事が多いけど、1つ1つクリアし、自信が持てるよう頑張ります。

6階病棟 海道麻有子・岡本麻衣・林恭平



緊張と不安でいっぱいですが、優しいスタッフに囲まれ、笑顔で頑張ります。

自分自身の心にゆとりを持ち、患者様の声を傾聴出来るような看護師になりたい。

思っていたよりハードで大変ですが、1つ1つ前進して行きたい。

7階病棟 藤田亜希子・本郷有子・本永寛子

不安で緊張していましたが、とても丁寧に教えて頂き、安心感を持つことが出来ました。

覚える事が沢山あるけど、少しでも頑張って、自分自身成長したい。

今は、1人では何もできないけど、早く慣れ、看護技術を磨き、1人前の看護師になりたいです。

1日も早く仕事を覚えたい。

8階病棟 大家義弘・岡奈緒美・柴田明美・星野和子

先輩方を見習って、素敵な看護師に育って下さる事を期待します。皆頑張れ。





# 地域医療連携室をご存知でしょうか？

病院によっては名称が異なる場合もありますが、現在では、多くの病院に地域医療連携室という部門があります。当院では平成17年1月に設けられた比較的新しい部門です。

さて、当院の地域医療連携室は、1階・脳神経外科外来診察室の隣にあります。「場所は知っているよ」と言われる方でも、実際何をしているところかご存知ない方もきっと多いのではないのでしょうか。そこで、当院の地域医療連携室の業務内容を紹介したいと思います。

業務内容は、大きく地域医療連携業務と医療福祉相談業務の2つに分かれています。

地域医療連携業務の主な内容は、地域の診療所や他の病院から診察や検査の依頼を受けた場合に、予約をお取りすることや、また逆に、当院から他の病院へ受診される方の診察や検査の予約をお取りすることです。その他には、診療所の先生方を当院へお招きして症例検討会や会議の場を設ける等、業務は多岐にわたっています。

医療福祉相談業務の主な内容は、ご病気をきっかけに介護等が必要となった患者さまが退院される際に、少しでも安心して自宅へお戻りいただけるようお手伝いをさせていただいたり、自宅へ戻られることが困難な場合には、病状に応じた医療機関、あるいは、介護福祉施設をお探しし、ご紹介することです。その他、介護保険や生活保護等の制度の説明なども行っています。当院では、国家資格である社会福祉士資格を有するソーシャルワーカー2名と看護師1名の合計3名が医療福祉相談業務を担当しています。看護師はソーシャルワーカーと協力して退院のお手伝いをしたり、その専門性を生かして医療上の相談に乗ったりしています。何かお困りのことがありましたら、各病棟のナースステーションにお伝えいただくか、正面受付にてお声かけください。担当者が対応させていただきます。

地域医療連携室は、医療機関等に対する窓口、患者さまの相談窓口として、今後ともがんばってまいりますので、よろしくお祈りします。

地域医療連携室診療担当主任 南出 弦  
地域医療連携室事務担当主任 平野 幸代



は、地域住民と共に災害時要援護者対策を考えることができる訓練方法の開発です。その一環とした活動が5月23日にモデル地区で実施しました。今回の活動で得られた結果をもとに、より効果的な方法論の開発に向けて取り組んでいきたいと思えます。「共同研究者／川口淳（三重大学）、河原宣子（京都橘大学）」

## ～地域住民と共に考える 災害時要援護者対策～

6階病棟 林 恭平

世界有数の地震大国である日本。看護学分野においても、災害に関する実践・研究・教育活動が活発に行われています。私が取り組んでいること

